

市町村と県による協働電子図書館

デジとしょ信州のご紹介

長野県民はだれでもいつでもどこからでも




市町村と県による協働電子図書館運営委員会
(2023年9月)



1

「デジとしょ信州」誕生までのエピソード

長野県内77市町村が主体となった協働事業！

デジとしょ信州

市町村と県による協働電子図書館

デジとしょ信州



デジタル庁令和4年度「夏のDigi田甲子園」【実装部門(中核市等)】の長野県代表に選出されました



2

「デジとしよ信州」のしくみ(令和4年～の5か年事業)



県内全ての自治体が、協働で導入する事例は「全国初」!

デジとしよ信州

3

協働で「電子書籍サービス」に取り組んだ背景

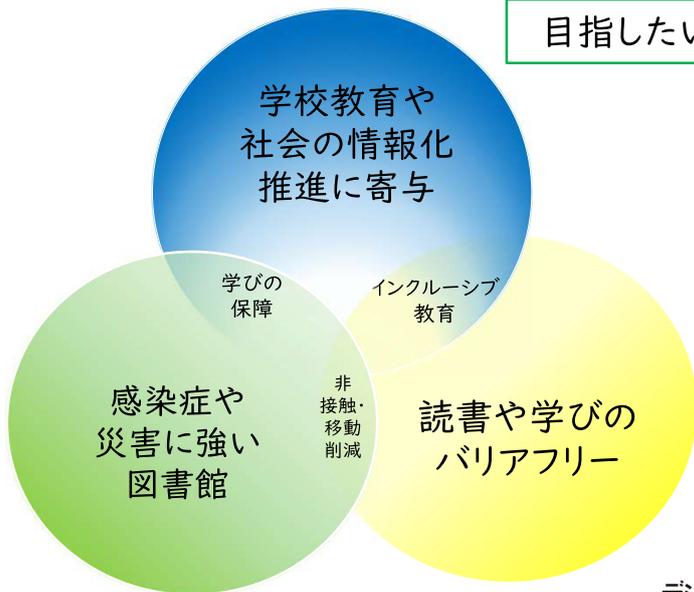
事業の背景・課題

- (1) 「情報の形」の変化
- (2) 災害等の影響
- (3) 地域的な条件

目指したい姿

ジレンマ

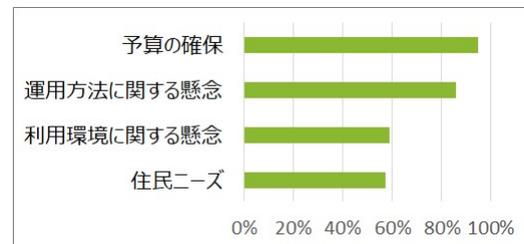
電子書籍は有効!
しかし…現実



デジとしよ信州

4

アンケートで明らかになった市町村(図書館)の悩み



【課題】

- 予算の確保:9割以上
- 運用の懸念:8割以上

【希望】

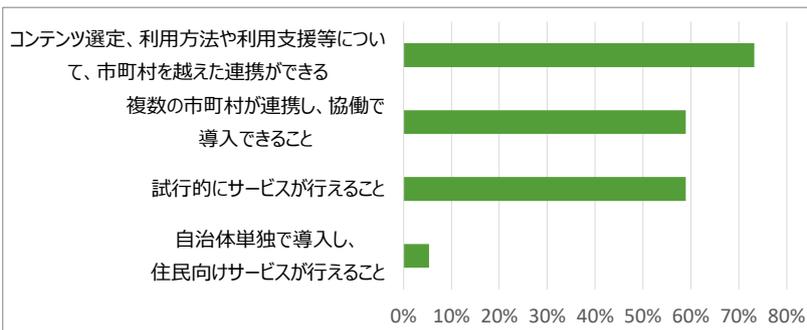
- 市町村を越えた連携:7割以上

【コメント】

- 議会で質問があった
- 単独導入は壁が高い
- 図書館が台風による水害にあい、必要性を痛感

「電子書籍貸出サービス」に関するアンケート(R3.1)
対象:長野県内公立図書館
(回答率100%)

予算確保と運用のハードルが高いことが明らかに



デジタル信州

5

市町村と県の協働で「だれ一人取り残さない長野県へ」

市町村と県とが協働して電子図書館のサービスを構築

情報へのアクセスを保障

「災害」「感染状況」等になるべく影響されず、図書館サービスを提供し続ける環境をつくる

×

リーチを拡げる

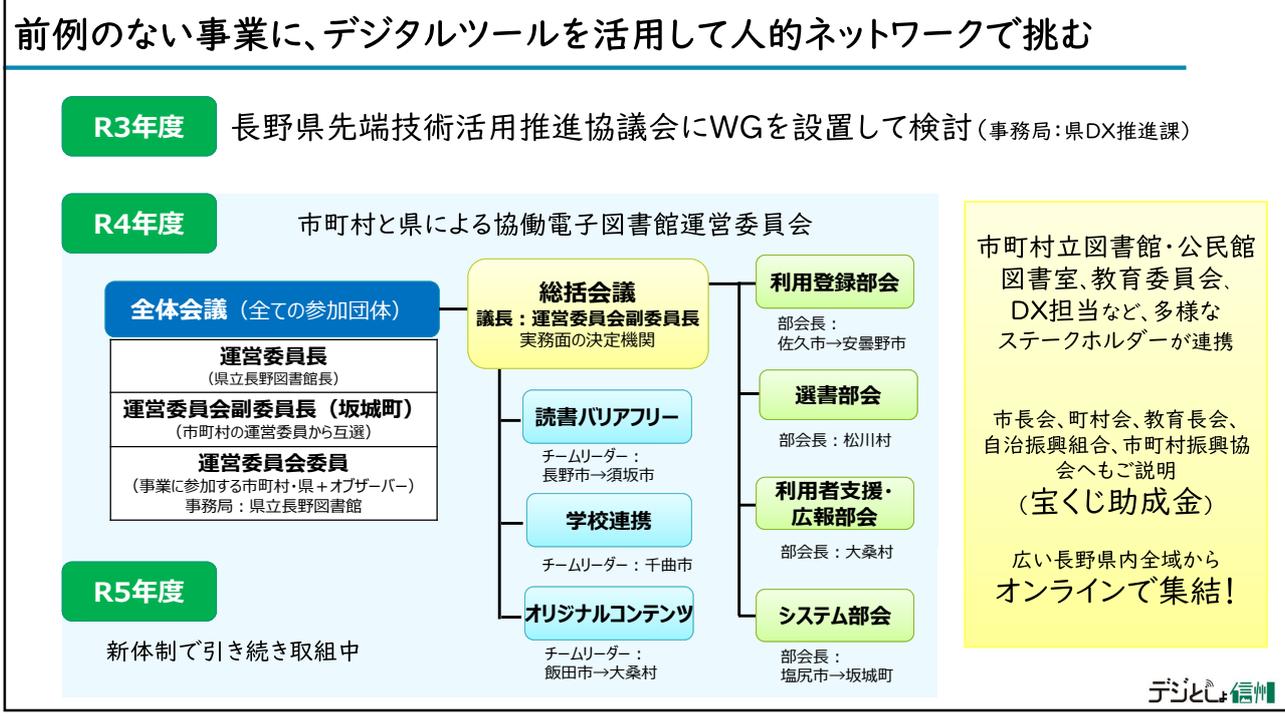
「地理的条件」「生活スタイル」「特別な配慮」などで利用しづらかった住民にサービスを届ける

これまでできなかったことを

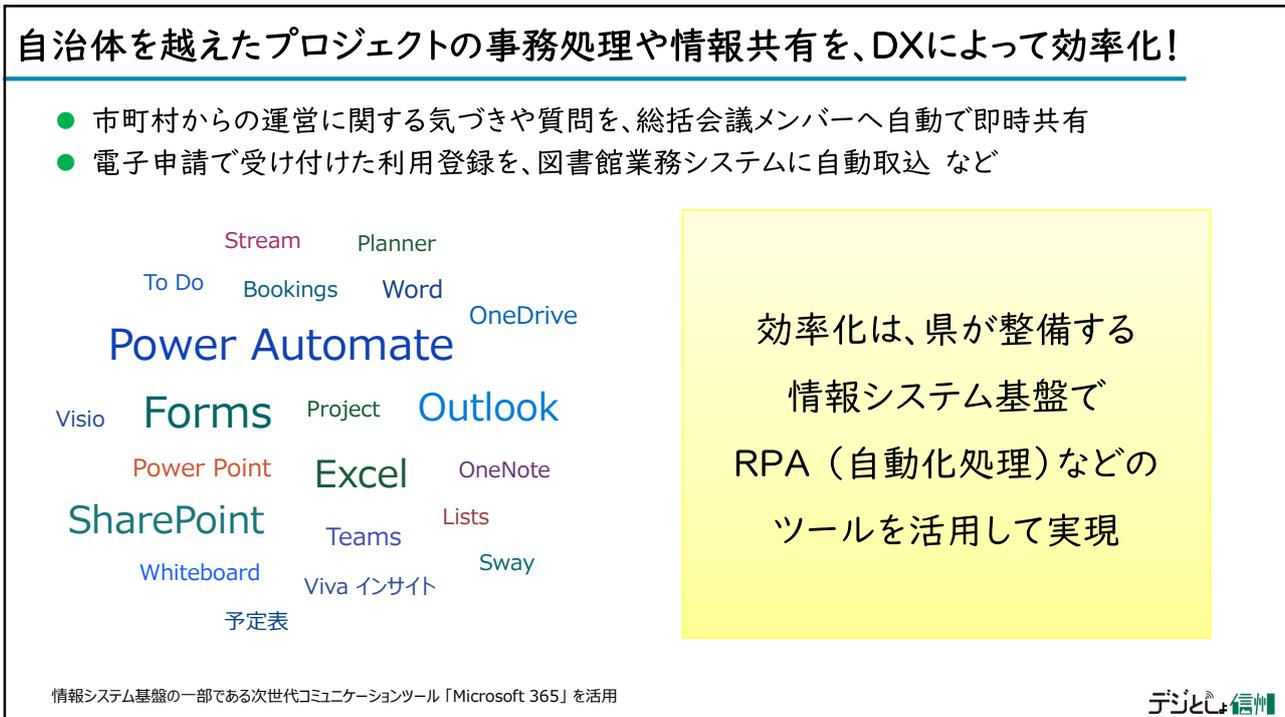
これまで届かなかった人へ

デジタル信州

6



7



8

令和4年8月5日 県内全自治体をつないだオープニングセレモニー



たくさんの首長や教育長、関係者が参加！これはゴールではなく、スタートです



9

こんなふうに使われています！①コンテンツ数とID登録数 (2023年6月末現在)

● コンテンツ数:

21,200点

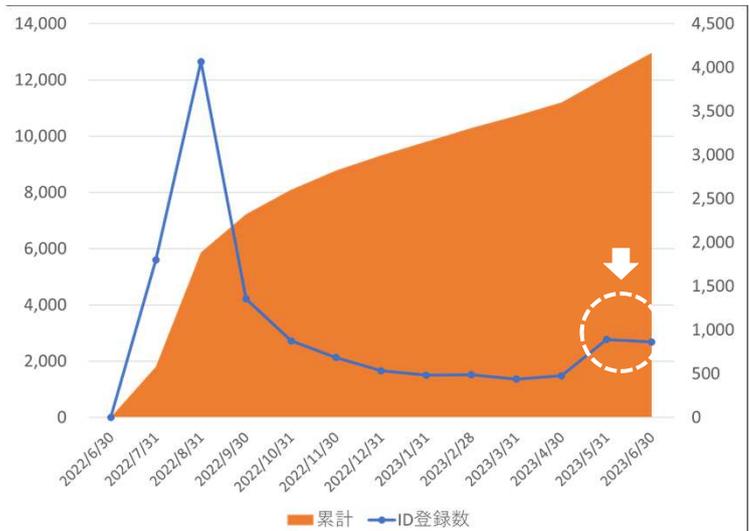
- 継続的に増えています

● ID登録数(累計):

12,963人

- 長野県の人口: 2,008,353人
- 県民の0.6% (まだまだこれから!)
- IDを一括登録する学校も

知ってもらおう
親しんでもらう
さらなる工夫を!

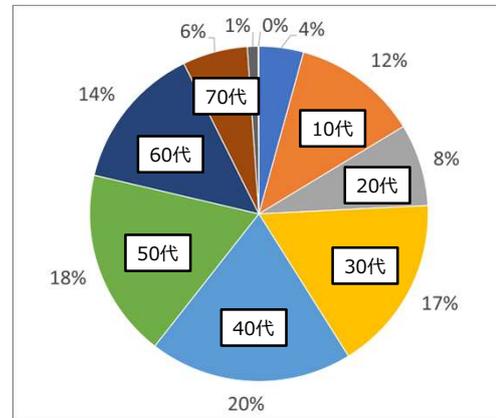


10

こんなふうに使われています! ②貸出数・年代(2023年6月末現在)

● 貸出数:
72,155冊

- 貸出者年代:
- ✓ 40代を中心に、30代~60代が多い
 - ✓ リアルな図書館を利用しづらい、働く世代にリーチ
 - ✓ さまざまな年齢層への拡がり



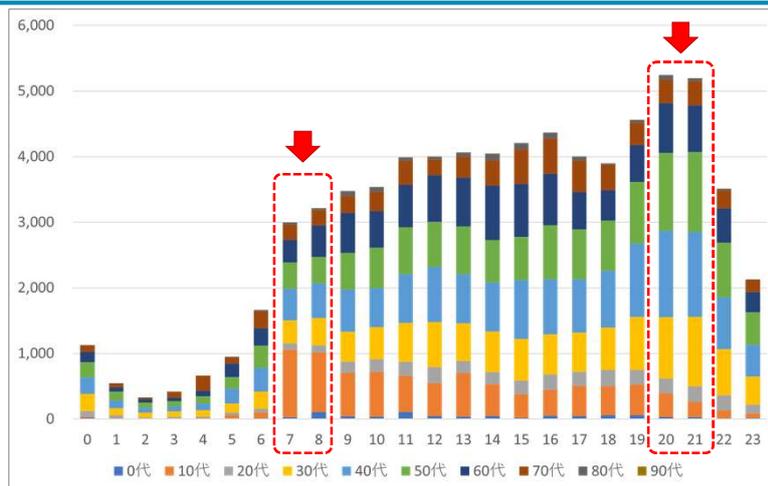
県民の声

- 視力が低いので、**拡大機能が重宝**する
- 心配した文字の大きさや行間など、**高齢者にも優しい**
- オーディオブックもいい。**長く愛用したい**

デジタル信州

11

こんなふうに使われています! ③使われる時間帯と年代(2023年6月末現在)



● 使われる時間帯:

- ✓ 最多: 20時~21時
図書館が開いていない時間帯の利用
- ✓ 注目: 7時~8時
10代の利用が多い

電子書籍ならではの
使い方が見えてきた

県民の声

- 隙間時間が読書タイムとなり、読書量が一気に増加
- 普段読まないジャンルにも**挑戦**できる
- 家にいるまま、スマホで本が借りられるの、**快適**すぎる

デジタル信州

12

読書バリアフリーのさらなる充実に向けた前進

● 視覚障がい者向け電子図書館

「アクセシブルライブラリー」の導入

スマホ、タブレット、PCで
コンテンツを楽しめる

- 電子書籍を音声自動読み上げで提供
※盲学校や長野県視覚障害者福祉協会等とも連携

QRコードを読み取って
かんたんログイン



● 今後も、さまざまなバリア解消に向けて取り組んでいく

- 外出がしにくかったり、身体的・地域的・経済的などの要因で読書が困難な人へ、読書環境を届ける

「だれでも、いつでも、どこからでも」を、さらに充実!



13

それぞれの自治体、それぞれのカタチ ①広報との連携



千曲市役所公式
YouTubeチャンネル



デジとしよ信州で
あなたのスマホが図書館には



14

それぞれの自治体、それぞれのカタチ ②学校との連携

● 高森町:

- 高森北小:1年生全員がリアル図書館に登録
- 3年生で全員がデジとしよ信州に登録



紙とデジタルの
自発的な
使い分け



● 佐久市:

- 英語の本の読み聞かせて、ネイティブスピーカーによる読み上げ機能を活用して練習(小学校5年)

デジタルの
特長を
活かす



● 安曇野市:

- リアル図書館を社会科見学後、利用登録を行い、デジとしよ信州IDも発行(小学校)

デジとしよ信州

15

それぞれの自治体、それぞれのカタチ ③地域との連携

● 大桑村:

- 村立図書館の開館(2022年9月)に合わせて電子書籍も同時スタート!



相乗効果
を目指す

シニアの
暮らしを充実!

● 天龍村:

- 天龍村暮らし安心ICTネットワーク事業で、65歳以上の住民全員にタブレットを配布「緊急」「ラジコ」などと一緒に 予め「デジとしよ信州」のアプリをインストール!



● 生坂村:

- 物理的距離をデジタルで解決 住む場所でライフスタイルを我慢しない 地域の魅力を発信



地域資料を
電子化

デジとしよ信州

16

大切にしていきたいこと

デジとしょ信州は

紙からデジタルへの置き換え、集約ではなく
一人ひとりの住民、それぞれの市町村にとっての

選択の幅を広げる

リアルな図書館+デジとしょ信州で

すべての住民の

「読書・学びの基盤」の充実と

「公正な社会」づくりに

寄与していく

もっと、みんなの

デジとしょ信州へ!

デジとしょ信州